

## 編集後記

立春を過ぎて春の訪れが待たれる頃となり、研究所がある新潟市中央区でも、雪捨て場以外では、ほとんど雪を見ることがなくなってきました。一般に雪深いと思われている新潟県ですが、新潟市の中心街は例年あまり積もることがなく、積もってもせいぜい20センチ程度ですし、3～4日ですぐ融けてしまいます。ちなみに今年1月の最深積雪は3センチでした。

少雪とともに驚かれるのが、最低気温が高いこと。例えば先月は平年並みの気温でしたが、最低気温が0℃を下回ったのは11日間で、17日間の埼玉県さいたま市や、14日間の東京都練馬区よりも少なかったのです。ただ、残念ながら曇天や降雨の日が多いため、最高気温や平均気温は低いのですが。

さて今号から、本誌の偶数号には当研究所の研究情報だけでなく、トピックス的な記事も掲載することとしました。また、研究情報についても、文章を短くし、分かりやすい表現を多く用いるようにしました。まだ過渡期のため十分に改善されてはいませんが、今後とも、当研究所の研究情報を分かりやすくお伝えできるよう、努力を続けていきます。皆様もお気づきの点などありましたら、遠慮なく下記までお知らせいただければ幸いに存じます。

(日本海区水産研究所業務推進課長)

発行：独立行政法人水産総合研究センター

編集：独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所  
〒951-8121 新潟市中央区水道町1-5939-22  
電話：025-228-0451(代) FAX：025-224-0950  
<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>